

LaKeel DX、AWS の生成 AI モデル「Amazon Bedrock」への対応を開始

～お客様の環境に最適なモデル選択が可能に～

株式会社ラキール（本社：東京都港区、代表取締役社長：久保 努、以下「ラキール」）は、問い合わせ支援機能である「AI Chatbot」とアプリケーション開発運用基盤「LaKeel DX」のシステム画面の自動生成機能である「Component Studio」において、Amazon Web Service（AWS）が提供する生成 AI サービス「Amazon Bedrock」への対応を開始したことをお知らせします。



■Amazon Bedrock とは

本サービスは Anthropic、Meta、Cohere、Stability AI、および Amazon などの大手 AI 関連企業が提供する高性能な基盤モデル(Foundation Model)を単一の API を通じて利用可能にするサービスです。セキュリティとプライバシーに優れている Amazon Bedrock は、生成 AI アプリケーションの構築に必要な幅広い機能を備えており、さらにサーバーレスかつ AWS サービスとのシームレスな統合を実現します。

■LaKeel DX×Amazon Bedrock が実現すること

LaKeel DX は、ソフトウェアを部品として開発し、それらを組み合わせることで目的のアプリケーションを作成できるプラットフォームです。LaKeel DX には、問い合わせ支援機能「AI Chatbot」とシステム画面の自動生成機能「Component Studio」があり、これまで OpenAI の GPT-4o や GPT-4o mini を標準として利用していました。

今回の Amazon Bedrock への対応により、Anthropic 社が開発した最新の AI モデル「Claude 3.5 Sonnet」の利用が可能になります。Claude 3.5 Sonnet は最新の AI 技術を駆使したモデルであり、以前のバージョンに比べてより高いパフォーマンスと精度を実現します。

さらに、LaKeel DX を AWS 環境で使用することにより、AWS PrivateLink を活用して閉域環境での利用が可能になり、高いセキュリティレベルで安心してサービスを導入いただけます。

本サービスは、LaKeel BI の対話型でインサイトの把握が可能な新機能である「LaKeel BI Concierge」でも対応を予定しております。

■LaKeel DX について

LaKeel DX は日本発・日本初のデジタルビジネスプラットフォームです。LaKeel DX の最大の特徴は、機能の一つひとつを部品として開発し、それらを組み合わせて業務アプリケーションを作ることができます。部品単位で追加・入替が可能のため、システムは常に最新の状態に保たれますので、これまで数年おきに発生していたスクラップ&ビルドが不要になり、同じシステムを継続して利用可能な状態になることから『サステナブルソフトウェア』と呼称しております。

また、ラキールはこの新しい技術で特許を取得しています。顧客企業はスクラッチ開発のメリットである「各社独自の要件」を叶えることと、パッケージ製品のメリットである「効率的&ベストプラクティスの適用」の両方を享受することができます。

■ラキールについて

2005年6月10日創立。2012年8月より独自のプロダクトブランド LaKeel（ラキール）シリーズの提供を開始。クラウド型アプリケーション開発運用基盤「LaKeel DX」を中心に、先進的なアーキテクチャと深い業務理解を基に構築された14種類のプロダクトを展開しています。2021年7月東京証券取引所マザーズ（現グロース）市場に上場。ビジネスのコアに変革をもたらすプロダクトを提供し続け、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援しています。また2年連続「健康経営優良法人」に認定され、従業員が安心して挑戦できる働く環境づくりにも力を入れています。

株式会社ラキール <https://www.lakeel.com>

* 会社名、製品名等はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

* 本リリースに掲載された内容は発表日現在のものであり、予告なく変更または撤回される場合があります。また、本リリースに掲載された予測や将来の見通し等に関する情報は不確実なものであり、実際に生じる結果と異なる場合がありますので、予めご了承ください。

■本件に関するお問合せ先

株式会社ラキール

広報・マーケティング本部

TEL：03-6441-3859 Email：marketing@lakeel.com